

光ミュージアム 年報 2023.12

HIKARU MUSEUM

第 15 号

令和 5 年

目次

ごあいさつ

光ミュージアムの理念

テーマ「光」	5
地域に貢献できる博物館活動	5
生涯教育に役立つ博物館	5
国際交流の推進	5

施設概要

建築概要	6
施設の規模	6
フロアガイド	7

展示概要

常設展示	8
一階企画展示室	8
飛騨展示室	10
人類史展示室	14
美術展示室	19
特別展示	25
生誕 140 年記念北大路魯山人展	25
桑原翠鳳が求めた書	28

古代アンデス文明展～黄金と土器と五色織りなす布の神秘～	31
-----------------------------------	----

企画展示	34
------------	----

宮腰敏一展	34
-------------	----

キャシー中島 楽園のキルト展 ～ハワイの風をあなたに～	36
-----------------------------------	----

川合玉堂生誕 150 年記念 大観と玉堂 近代日本画のパイオニア	38
--	----

普及活動

一般向け活動	40
--------------	----

体験学習	40
------------	----

謎解き	42
-----------	----

外部連携活動	43
--------------	----

出張美術館	43
-------------	----

学校連携活動	44
--------------	----

岐阜女子大学 書道部練成会	44
---------------------	----

佐賀大学 作品撮影協力	44
-------------------	----

日本大学 科学教室	45
-----------------	----

中山中学校・日枝中学校 職場体験	45
------------------------	----

斐太高校・ムンド・デ・アレグリア学校交流活動	45
------------------------------	----

その他連携活動	46
---------------	----

地域お仕事発見隊	46
----------------	----

高山市文化協会事業「子ども夢創造事業」	46
---------------------------	----

調査研究

美術品状態調査 48

ゴッホ作品研究活動協力 48

資料貸出

貸出資料 49

光ミュージアムは、平成 11 年 4 月の開館より 24 年を迎えさせていただきました。当館は平成 14 年より博物館法による「登録博物館」として活動を行っております。また、平成 29 年からは財団化し、「一般財団法人 光ミュージアム」として運営致しております。ここに年報第 15 号を刊行し、令和 5 年の事業報告を致します。

特別展としては「生誕 140 年記念北大路魯山人展」「桑原翠邦が求めた書展」「古代アンデス文明展～黄金と土器と五色織りなす布の神秘～」を、また企画展として「宮腰敏一展」「キャシー中島 楽園のキルト展 ～ハワイの風をあなたに～」「川合玉堂生誕 150 年記念 大観と玉堂 近代日本画のパイオニア」を行って参りました。

普及活動としては、教育委員会ならびに学校と連携して連年、小・中学校で行っている「出張美術館」が 20 年目を迎えました。また、大学との協力による岐阜女子大学文化創造学部書道教育コースの書道練成会も、10 年以上継続して開催しております。さらには、(一般社団法人)高山市文化協会と連携し、子供たち向けのイベントを行うことで、これまでより一層地域に根差した教育普及活動となりました。

お蔭さまで当館のコレクションに対し、国内外の美術館・博物館から作品・資料の出品や貸し出し依頼が増えており、これに応えて他館との連携も深めております。これからも、地域社会はもとより国際的にも貢献できる総合博物館として、事業・活動の充実を図って参りたいと存じます。これまでご協力を賜りました関係機関、関係者各位に心より厚く御礼を申し上げますと共に、今後とも当館に対し、ご指導・ご鞭撻を賜りますよう謹みてお願い申し上げます。

令和 6 年 3 月 31 日

光ミュージアム

小林 秀明

光ミュージアムの理念

テーマ「光」

地球環境との対話が叫ばれる今日、生命エネルギーの根源である「光」をテーマに博物館活動を行なう。「光」のテーマは広範囲である。太陽からの光、自然からの光、化石等過去の物質からの光、人工的な過去の文明からの光、また、芸術・美術、人の心からの光など。こうした人類に向けて放たれる光を多方面にわたり

- 1 資料収集・保管
- 2 調査研究
- 3 資料・収蔵品の紹介・展示
- 4 教育普及活動

することにより、人類・社会の精神的・物質的な向上を目指すものとする。来館者が、長い年月の中で地球や人類が育んできた歴史をたどり、自然と人類が残した優れた美・芸術・文化に触れることにより、今後の生き方、未来へ歩む方向性を見出せるような活動を展開して行く。

地域に貢献できる博物館活動

飛騨地域は、特有(古生代から新生代)の地層・地質・岩石・化石等を保有している。そこに住む人々の 歴史と伝統文化を紹介することにより、地域に融和した文化環境の向上を目指す。地元、飛騨地域(高山市を含む)を中心に、岐阜県及び中部地区に貢献できる社会教育施設として、博物館活動を展開して行く。

生涯教育に役立つ博物館

老若男女を問わず、児童・生徒から大人まで気軽にご来館いただける公共施設として、生涯教育に役立つ総合博物館として、特に、今後の未来を担う青少年の知育向上のための教育施設として、広く一般に利用していただくことを目的とする。

国際交流の推進

世界古代文明の遺物や優れた芸術品を展示・紹介することにより、国際交流の推進並びに地域社会の国際 化にも貢献する。

そのため積極的に国際的な企画展を実施して行く。

施設概要

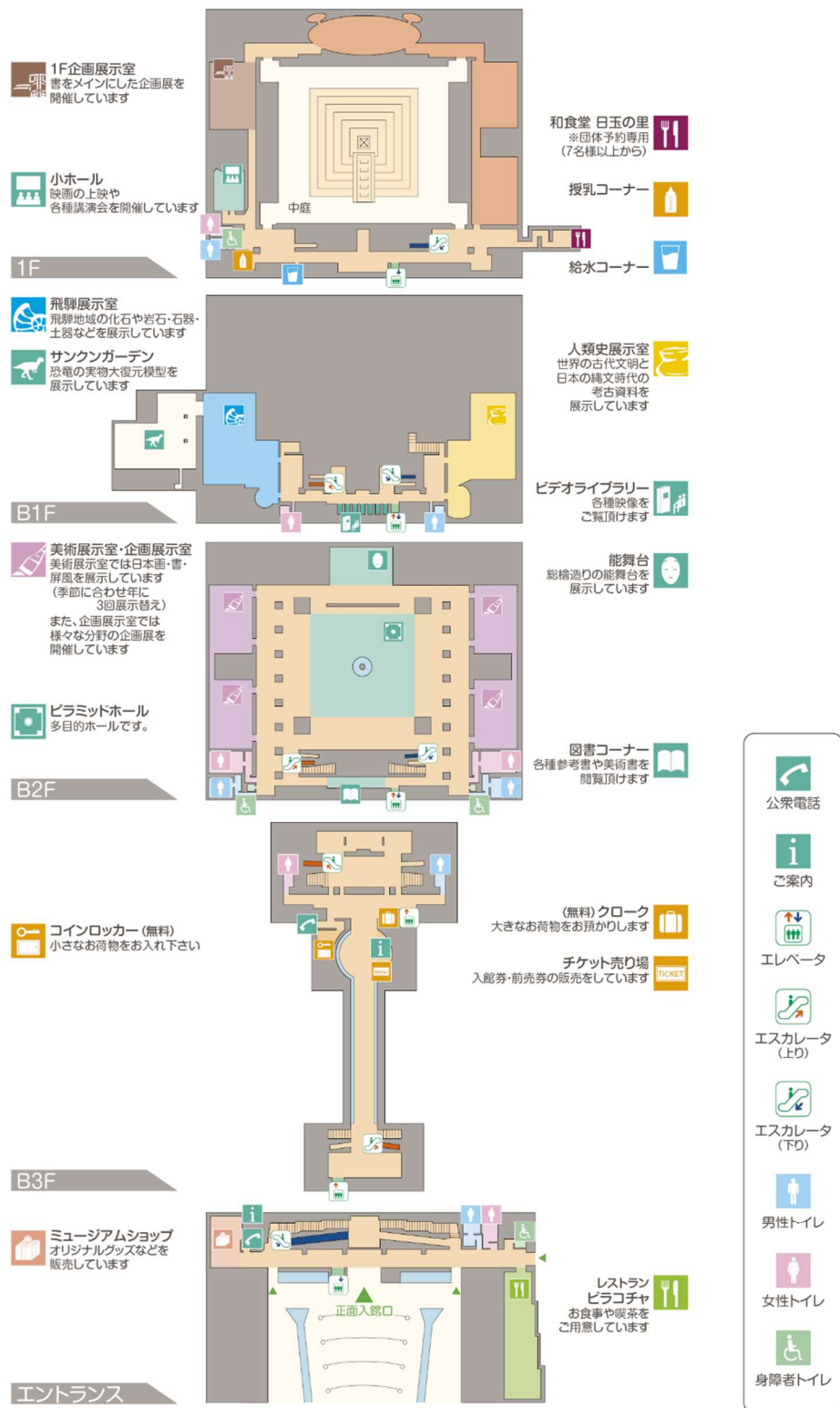
建築概要

所在地	岐阜県高山市中山町 175
地区・地域	第 2 種住居地域 教育文化地区
工期	着工:平成 5 年 6 月 23 日 竣工:平成 10 年 2 月 27 日 開館:平成 11 年 4 月 8 日
敷地面積	75,753.75m ² (22,915 坪)
建築面積	14,097.00m ² (4,264 坪)
建ぺい率	19.78%≦48.17%(地区計画)
延床面積	32,668.81m ² (9,882 坪)
容積率	45.84%≦76.34%(地区計画)

施設の規模

駐車台数	来館者用	乗用者 105 台 バス 27 台
	職員用	乗用車 66 台
見学ゾーン面積		
1 階		3,750.62m ² (1,135 坪)
地下 1 階		2,812.12m ² (851 坪)
地下 2 階		7,013.97m ² (2,122 坪)
合 計		13,576.71m ² (4,107 坪)
能舞台		1 舞台
小ホール		108 席
収蔵庫面積		1,534.62m ² (464 坪)
図書室		30 席
レストラン「ビラコチャ」		108 席
和風レストラン「日玉の里」		82 席(団体予約専用)
立礼席		32 席
美術館棟の外形		101m×86m
外部ピラミッドの高さ		20.7m(中央床面より)
内部ピラミッドホールの天井高		21.7m(地下 2 階フロアより)
可変床面積		1,353m ² (409 坪)

フロアガイド



展示概要

常設展示

常設展「2023 書コレクション I」

開催期間

2023 年 2 月 27 日(月)～8 月 21 日(月)

作品点数

32 点

展示作品

No.	作品名	作家名	年代
1	神歌	手島小華	昭和 60 年頃
2	氷河	大石千世	平成 20 年
3	忘	高野早苗	平成 27 年
4	像	小林抱牛	昭和～平成
5	遂	桐山大綬	平成 8 年
6	勉	鈴木天城	昭和～平成
7	天寿	市河米庵	幕末(安政 4 年)
8	(一、)	沢田明子	平成 6 年
9	ABC	高松慕真	昭和 35 年
10	帰一	佐々木崑邦	平成 9 年
11	巍	山崎大抱	昭和 60 年
12	和歌	松花堂 昭乗	江戸初期
13	会津八一の歌	堀 桂葉	
14	習静	中林梧竹	明治
15	ステラのニシエ～石版の扇・窪み～	大杉弘子	
16	暁	加藤石泉	
17	杜	土屋弘鳳	平成 12 年
18	虚己	南尚雲	平成 5 年
19	色即是空	水嶋山耀	平成 9 年
20	嶺	松竹太虚	昭和 62 年
21	漢詩	松嶋楠城	平成 7 年
22	○△□	須田剋太	
23	愚徹	須田剋太	昭和 61 年
24	「蓬莱や」句幅	小林一茶	江戸後期
25	文政二年八月三日句入日記	小林一茶	江戸後期
26	天	須田剋太	昭和 61 年
27	神爽	中臺青陵	昭和 43 年
28	忘個利他	手島恭六	平成 11 年
29	仏足	柴山抱海	
30	夢	豊口広	

No.	作品名	作家名	年代
31	瀟灑風流	川谷尚亭	明治 39 年頃～45 年
32	漢詩	比田井天来	

常設展「2023 書コレクションⅡ」

開催期間

2023 年 8 月 24 日(木)～12 月 25 日(月)

作品点数

28 点

展示作品

No	作品名	作家名	年代
1	風神	山崎大抱	
2	黒	小林抱牛	昭和 63 年
3	輝	仲川恭司	昭和 48 年
4	随順	棟方志功	昭和元年～50 年
5	神苑の朝	川合玉堂	昭和 13 年
6	神威	野中吟雪	令和 3 年
7	山	高橋泥舟	明治元年頃～36 年
8	藜杖全吾道	池大雅	江戸中期(享保 15～安永 5 年)
9	篆刻文字「鶴寿千歳」	高澤翠雲	
10	根源	須田剋太	
11	刻字「在平素」	川合玉堂	
12	和歌	若山喜志子	昭和 24 年～43 年
13	惟穆	西川春洞	明治
14	南山壽	松林桂月	大正～昭和 38 年
15	漢詩「落花水暖千…」	勝海舟	幕末～明治 32 年
16	大道	須田剋太	平成元年
17	憶劫	須田剋太	
18	寂聲	齋藤香坡	
19	連	伊藤欣石	昭和～平成
20	うつろひ	阿部朱昂	
21	鳳	立石光司	
22	波蝕	柳谷金平	
23	波	岩井鳳水	
24	天聴	伊藤千勝	
25	香	手島恭六	平成 25 年
26	汝（虚空に我）	中根海童	平成 24 年
27	丸胤「草原の虹」	大杉弘子	
28	秋刀魚の歌	佐藤春夫	大正 10 年～昭和 39 年

1. 展示目的

現代の人類社会を支える自然が現在の姿になるまで、人類を含む全ての生命が果たしてきた役割と環境の変化を紹介する。

いつの時代においても 1 つ 1 つの生命には役割があり、一切無駄無く配置されている。生命と環境の長い歴史と積み重ねを知ることにより、自然をかけがえのないものとして再認識し、慈しむ心を育てる。

2. 展示内容

飛驒は古生代の福地層、中生代の手取層群、新生代の火砕流推積層等各年代の地層や岩石が露出していることで有名である。

飛驒の実物資料を通して、地球の自然界における普遍真理を捉え、一切無駄無く培われた生命の役割と命の尊さ、環境との関わり等を紹介している。

展示は飛驒産出の化石・岩石に考古資料を加え、古生代から現代までの飛驒の歴史と生命の関わりを提示している。地球環境を形成してきた命の大切さをどの年代層へも伝えられるよう、復元模型やジオラマに力を入れた。特に植物ジオラマは、葉脈に至るまで化石を元に忠実に復元している。

〈輝く生命の星〉

導入部には宇宙から見た地球を表現した模型を設置し、宇宙飛行士が見た地球の美しさと思議さを疑似体験する試みを行っている。

※展示手法

○地球模型

○100 インチモニター映像

○実物資料：隕石

〈古生代〉

飛驒にある古生代の地層からは、サンゴをはじめとする海の生き物の化石が数多く発見されている。

これらの原始生物は何億年もかけて、生命の星とよばれる地球環境をつくったといわれている。

これらを垣間見ると、それぞれが理想的な共生関係を保って繁栄を遂げたことが理解できる。このゾーンでは飛驒産出の化石を時代毎に展示するとともに、示相化石・示準化石や地層累重の法則などの基礎的な内容を学べるよう展示をしている。

※展示手法

- 実物資料…海生動物化石・岩石
- 岩盤模型…実物資料を用いて福地層デボン紀の露頭を再現した
- ジオラマ…「シルル紀」「デボン紀」「石炭紀」「ペルム紀」の海の様子を復元した
- ミラービジョン…映像

〈中生代〉

飛騨地域にまたがる中生代の地層「手取層群」は恐竜や植物化石を多く産出することで知られている。海から陸、湖、川、空へと生活環境を広げ、動物と植物が共生しながら繁栄を遂げ、中生代の生活環境をつくったことを伝える。

※展示手法

- 実物資料…陸上植物化石・海生動物化石等
- ジオラマ…手取型植物群を原寸大で葉脈に至るまで、精巧に復元した
- 恐竜模型…手取層群から発見されたスギヤマリユウ・カガリユウの原寸大復元模型

〈新生代〉

飛騨地方では新生代のはじめから約 300 万年前までの間の地質現象を示す地層や化石が発見されていない。飛騨の山々は、それ以降にはじまった火山活動とプレート運動によって形成されたと考えられる。大地に残された痕跡から激しい変動の様子を伝える。

また、新生代は哺乳類が繁栄したことで特徴づけられ、その中には人類も含まれる。他の生物と違い、人類は道具を生み出し用いることで自然環境に適応してきた。用途ごとに適した素材を選び分け、活用してきた人類と自然環境との関わりを、素材を通して紹介する。

※展示手法

- 実物資料…岩石、石器、土器
- 映像模型…噴火と再生の様子を紹介

〈学習コーナー〉

展示を振り返り、楽しみながら復習をする場とする。

※学習手法

- 体験学習室・多目的スペース ……ワークショップを行う。

恐竜の歯を展示。

学習映像を放映。

監修・協力

全体監修：(故)猪郷久義(筑波大学名誉教授)

真鍋真(国立科学博物館副館長) 下畑五男(元岐阜県博物館館長)

久保貴志、三宅幸雄(敬称略)

展示資料数

古生代：化石 66 点 岩石 6 点

中生代：化石 27 点

新生代：岩石 12 点 その他 59 点

企画展 隕石コレクション展

開催期間

令和 5 年 2 月 27 日(月)～

展示点数

17 点

展示概要

太陽や地球から微惑星に至るまでの太陽系は、宇宙を漂うガスや塵からほぼ同時期に形成されたと考えられています。中でも「メインベルト」(火星と木星それぞれの軌道間にある小惑星帯)を構成する天体の多くは、太陽系の形成過程で惑星にまで成長することがなかった未成熟の天体であり、太陽系初期の状態や、惑星の形成過程を残したものであるとされています。隕石の大多数は、このメインベルトの天体やその破片が起源であると考えられることから、これらの隕石を調べることによって、太陽系がいつ生まれ、どのように進化してきたのかが分かってきました。

本展示では、当館の隕石コレクションから、「アエンデ隕石」をはじめとする 17 点を選定し、「始原始的な隕石」と、「分化した隕石」に分けて展示するとともに、「発見」/「落下」の別や、鉱物種の割合や化学組成などの成り立ちを表す分類についての情報も提供しています。

また、特定の「球粒隕石」において容易に見ることができる「コンドリユール」(球粒)や、鉄隕石の多くにみられる「ウイドマンシュテッテン構造」など、隕石の特徴についても観察しながら学ぶことができます。

更に「月」や「火星」に起源をもつ珍しい隕石や、地上に巨大なクレーターを残した「キャニオン・ディアブロ隕石」のコーナーも設け、小さなスペースながら、まとまった展示になるよう工夫いたしました。

展示の様子



常設展「人類史展示室」

1. 展示目的

展示は、人類が共通して持つ普遍の心、『崇める心』をテーマにした。

古来より人類は自然を畏れ尊び、人間の知恵と力の及ばないところに神の世界があると考え、崇める心を培ってきた。豊かな文化や現代にまで残る遺産といった古代文明の所産は「崇める心」の象徴であり、現代文明においても人々の心のよりどころとなっている。また、先人の努力があって我々も今日の生活を営めるのであり、何千年も前から現代にまで通じる文化の共通性・独自性を知ることは、今後の文化・文明を考える上でも重要である。

ダイナミックな造形を生んだ世界各地の文化遺産の展示を通して、21 世紀を生きる現代人の視野を広げ、文明を育む原動力となった人類の心を問う場を提供している。

2. 展示内容

人類史展示室では、世界各地の考古資料を各文明・文化ごとにまとめた展示を行っている。旧石器時代から世界の 7 つの文明と日本の縄文時代について、その全体像と精神性を実物資料、模型、解説パネル、映像、ミラービジョン等によって紹介している。

『崇める心』をテーマに人類の心を探り、その帰結としての諸文明を提示している。

〈旧石器時代〉

約 400 万年以上前から世界各地に広がった人類は、厳しい自然環境に適応しつつ豊かな文化を育んでいった。

火の使用、石器の加工技術、豊穡や秩序を祈る洞窟壁画等を通して、旧石器時代の人々の『崇める心』を中心に紹介している。

※展示手法

○実物資料…旧石器。

○縮小模型…旧石器時代の洞窟壁画。

〈世界の古代文明〉

約 1 万年前頃から、世界各地に文明・文化が興っていった。古代文明展示の導入として大型の地図・年表を配置し、7 つの文明と日本の縄文時代の地理的・時代的な位置関係を一覧できるよう工夫した。

各文明に見られる環境や遺跡・遺物を一堂に見ることで、それぞれの相違点や普遍性を垣間見ることができる。

※展示手法

○世界地図にモニターや展示ケースを配置し、各文明の気候風土・代表的な遺跡・遺物を映像や資料で一覧できるようにしている。

〈古代文明〉

紀元前 3000 年頃より栄えた世界的にもよく知られる 7 つの文明を、コーナーごとに分けて展示している。

世界各地の古代文明を社会のあり方や建築、実物資料の造形や紋様等、多方面から見つめ、比較することで、それぞれの文明を支えた人々の宗教観・死生観を探り、人類の未来を模索できるようにしている。

※展示コーナー

- ①メソポタミア文明
- ②ギリシア・地中海文明
- ③エジプト文明
- ④メソアメリカ文明
- ⑤中国文明
- ⑥インダス・インド文明
- ⑦アンデス文明

※展示手法

○実物資料…保存状態の良好な副葬品の展示。特に中・南米は当時の人々の精神性を伝える土器や、布製品等の一級資料で充実している。

○グラフィック…大型写真パネル、地図・年表、解説文を全文明統一した手法で配置している。

○模型資料…当時の人々の精神性を伝える神殿縮小模型(ウルのジグラット・パルテノン神殿・ティカール神殿)、三内丸山遺跡の復元模型、巨木柱等を設置している。また、アンデス文明『太陽の門』の精巧な原寸大の模型は、現地の天野博物館にご協力いただいた資料を元に作成したものである。

〈縄文〉

縄文時代は近年の発掘・調査・研究により、その生活水準の豊かさが見直され、現在でも新たな発見が相次いでいる。

自然と共に生き、1 万年以上もの間続いた縄文時代の全体像を提示し、同時期に栄えた世界の文明と共に展示している。

※展示手法

○実物資料…土偶、土器、石製品。

○レプリカ…木製品、土器。

○ミラービジョン…三内丸山遺跡の 5500 年前と発掘時の様子を縮小模型で重ねてみせる。盛土模型、巨木柱模型、縄文時代の紹介映像

〈学習コーナー〉

展示を振り返り、楽しみながら復習する場とする。

※学習手法

○スタンプラリー…展示室内にスタンプを設置し、各文明の建物や器・土偶などのスタンプを押せるようにしている。

資料名	地域	時代・文化期	年代
幾何学文様オイノコエ	キプロス島	鉄器時代～幾何学文時代Ⅲ期	紀元前 1200～紀元前 700 年頃
人頭形壺	イタリア	エトルスク文化	紀元前 800～紀元前 100 年
女性頭部像	イタリア		
ラギュノス	イタリア		
キュリクス	ギリシア～イタリア		
フィアレ	ギリシア		
ガラス製腕輪	シリア	ローマ帝国時代	
幾何学文様皿	北イタリア	ヴィラノーバ文化	紀元前 1100～紀元前 800 年頃
把手付き壺	南イタリア	ドゥーニ文化	
ガラス瓶	東部地中海	ローマ時代	
楔形文字付きレンガ		シュメール文化 初期王朝時代	紀元前 2900～紀元前 2350 年
口ゼッタ文様飾り		アッシリア帝国	紀元前 800～紀元前 600 年
花文様鉢	イラン		13 世紀～14 世紀頃
ラスター彩人物文鉢	イラン カシャーン		12 世紀～13 世紀頃
青銅製人物像	トルコ アナトリア	前期青銅器時代	紀元前 3000～紀元前 2000 年
神像頭部	パキスタン ランディコタール遺跡	ガンダーラ文化	紀元前 300 年頃
武人陶俑	中国 北朝	南北朝	439～589 年
天人像石彫	中国 北斎	南北朝 北斎	500 年頃
渦巻き文様双耳壺	エジプト	先王朝時代	～紀元前 3100 年
埋葬用コーン	エジプト	新王国時代	紀元前 1570～紀元前 1070 年
奉納運搬者浮彫	エジプト	末期王朝時代	紀元前 664～紀元前 332 年
二本指形護符	エジプト	第一中間期	紀元前 2181～紀元前 2055 年

資料名	地域	時代・文化期	年代
ジェセル王墓の壁面 装飾タイル	エジプト	古王国時代 第3王朝	紀元前 2686～紀元前 2613 年
ウシャブティ	エジプト		
彩色平底鉢	グアテマラ ペテン州 中 央低地	マヤ古典期後期	550～830 年
幾何学文様鉢	グアテマラ ペテン州 中 央低地	マヤ古典期後期	550～830 年
人面円筒土器	グアテマラ ペテン州 中 央低地	マヤ古典期前期	250～550 年頃
人面文様深鉢	グアテマラ ペテン州 中 央低地	マヤ古典期後期	550～830 年
人物文様皿	グアテマラ ホンジュラス 国境付近	マヤ古典期後期	550～830 年
長頸壺	メキシコ中央盆地	オルメカ先古典期中 期	紀元前 1000～紀元前 300 年頃
人物土偶	グアテマラ 中央南部低 地	マヤ古典期後期	550～830 年
神面石彫	グアテマラ 中央南部低 地	マヤ古典期後期	550～830 年
人物石彫	グアテマラ 南部太平洋 斜面	マヤ古典期前期	250～550 年頃
人物文様壺	ペルー北部海岸	チムー文化	900～1470 年
幾何学文様把手付き ケー口	ボリビア チチカカ湖	ティワナク文化	400～1100 年
鳥文様縫取織布	ペルー中部海岸	チャンカイ文化	1100～1470 年
人物木彫	ペルー北部海岸	チムー文化	900～1470 年
投石紐(オンダ)	ペルー中央海岸	イカ・チンチャ文化	1000～1470 年
猫科動物文様綴れ織 布	ペルー	イカ・チンチャ文化	1000～1470 年
十字文様綴れ織布	ペルー南部海岸	ナスカ文化	1～700 年頃
地母神土偶	アフガニスタン	ハラッパ文化	紀元前 2000 年頃
石製印章	アフガニスタン	ハラッパ文化	紀元前 2000 年頃
土製印章	アフガニスタン	ハラッパ文化	紀元前 2000 年頃
彩文土器			
赤色ビーズ	インダス		
男性土偶	インダス		紀元前 2500 年頃
女性土偶	インダス		紀元前 2500 年頃
青銅壺	中国	周 戦国時代	紀元前 403～紀元前 221
龍神文様灰陶壺	中国	前漢時代	紀元前 206～紀元前 8 年
硯	中国	宋	960～1279 年
馬鐸	中国	漢	紀元前 206～後 220 年
青銅剣	中国		
翡翠原石			
翡翠製品			
黒曜石原石			
黒曜石 石器			
人物埴輪	日本	古墳	300～700 年頃
妊婦土偶	日本	縄文後期	紀元前 2400～紀元前 1200 年頃
赤ちゃん土偶	日本 東北地方北部	縄文	
みみずく土偶	日本 関東地方	縄文後期後半	紀元前 1800～紀元前 1200 年頃

資料名	地域	時代・文化期	年代
香炉形土器	日本 東北北部	縄文後期後半	紀元前 1800～紀元前 1200 年頃
耳飾	日本	縄文	
土板・岩板	日本	縄文晩期	紀元前 1200～紀元前 400 年頃
有孔土製品	日本	縄文晩期	紀元前 1200～紀元前 400 年頃
磨製石斧	日本	縄文中期	紀元前 3500～紀元前 2400 年頃
石皿	日本	縄文	
すり石	日本	縄文	
阿玉台式土器	日本	縄文中期	紀元前 3500～紀元前 2400 年頃
十腰内1式土器	日本 東北	縄文後期前半	紀元前 2400～紀元前 2000 年頃
加曽利 E 式土器	日本	縄文中期後半	紀元前 3000～紀元前 2400 年頃
大木式土器	日本	縄文中期後半	紀元前 3000～紀元前 2400 年頃
甕形土器	日本 東北～関東北部	弥生前期	紀元前 400～100 年頃

常設展「2023 日本画コレクションⅠ」

開催期間

2023 年 2 月 27 日(月)～4 月 17 日(月)

作品点数

21 点

展示作品

No	作品名	作家名	年代
1	神田祭	鏑木清方	昭和 10～15 年頃
2	こころのふるさと 江戸十二ヶ月	鏑木清方	昭和 12～13 年
3	花の山	鏑木清方	昭和初期
4	赤家富	橋本明治	昭和 39 年頃
5	四季美人図	上村松園	明治 25 年
6	早春	堅山南風	昭和 3～5 年
7	若菜つみ	立石春美	昭和初期
8	桜花美人	門井掬水	昭和初期
9	黄花白鶴図	高森碎巖	幕末～大正 6 年
10	牡丹双鳩	児玉希望	大正～昭和 46 年
11	天竺牡丹之図	岸田劉生	大正 11 年
12	花鳥図	狩野栄信	江戸後期(文化 13 年～文政 11 年)
13	墨梅	村上華岳	大正 7 年頃～昭和 14 年
14	溪畔探梅図	松林桂月	明治 39 年頃～昭和 38 年
15	松芝萬年	富岡鉄斎	大正 5 年
16	四季草花図屏風	宗達工房	江戸前期(寛永 7～17 年頃)
17	二見浦	河野秋邨	
18	月下漁夫図	谷文晁	江戸後期(寛政 8 年)
19	芭蕉像「かれ枝に」の併句画賛	谷文晁	江戸後期(文化 10 年)
20	濁手牡丹菖蒲菊文角瓶	14 代 酒井田 柿右衛門	
21	二代目小佐川常世の一平姉 おさん	東洲斎写楽	江戸後期(寛政 6～7 年頃)

常設展「2023 日本画コレクションⅡ」

開催期間

2023 年 4 月 27 日(木)～6 月 12 日(月)

作品点数

12 点

展示作品

No	作品名	作家名	年代
1	麒麟図	冨田溪仙	大正 14 年
2	樹間の朝	福王寺法林	昭和 28 年頃～平成 23 年
3	春光	横山大観	昭和 10 年頃
4	御如意法輪大施無畏尊図	棟方志功	昭和 35～38 年頃
5	御点前	伊東深水	昭和 30 年頃
6	源氏物語 はは木々	土佐光起	江戸前期(寛文頃)
7	わか葉頃	上村松園	昭和 14 年頃
8	猫	前田青邨	昭和 48 年頃
9	花菖蒲	松下和代	平成 3～4 年
10	舞妓	寺島紫明	昭和 40 年頃
11	桃花	上村松篁	
12	青樓七小町 若那屋内白露	喜多川歌麿	江戸後期(寛政～文化 3 年)

常設展「2023 日本画コレクションⅢ」

開催期間

2023 年 6 月 15 日(木)～9 月 11 日(月)

作品点数

12 点

展示作品

No	作品名	作家名	年代
1	温南国	大室白耀	昭和 49 年
2	瑞光	田中以知庵	昭和 20 年頃
3	楚蓮香	佐多芳郎	昭和 53 年
4	不二霊峰	横山大観	昭和 11 年頃
5	棗の葉かげ	鏑木清方	昭和 38 年頃
6	雄鶏	金島桂華	昭和 44 年
7	奥入瀬清流	堂本阿岐羅	昭和 57～60 年
8	鯉	小堀墨秀	平成元年
9	宝珠	後藤純男	昭和 49 年
10	秋晴	伊東深水	大正～昭和 47 年
11	舞妓	三輪良平	昭和 30 年頃～平成 23 年
12	鯉	加藤東一	昭和～平成

常設展「2023 日本画コレクションⅣ」

開催期間

2023 年 9 月 14 日(木)～12 月 25 日(月)

作品点数

16 点

展示作品

No	作品名	作家名	年代
1	鶴の舞	石田 武	昭和 54 年
2	森煙烟	石崎昭三	昭和 51 年
3	猫岳	加山又造	
4	伊根錦秋	常岡幹彦	
5	紅椿	森 白甫	
6	雪の大原	小松 均	平成元年
7	秋想	木村圭吾	昭和 63 年
8	御点前	伊東深水	昭和 30 年頃
9	朝霧	西藤哲夫	昭和 60 年
10	海鳴り	小野具定	昭和 35 年頃～平成 12 年
11	宝珠	松尾敏男	昭和 49 年
12	聖観自在菩薩	佐多芳郎	昭和 59 年
13	立田の錦	鏑木清方	昭和元年頃～47 年
14	金閣秋色	鎌倉秀雄	
15	九世紀ペルシャ兎紋鉢	郷倉千靱	
16	市川鰍蔵の竹村定之進	東洲斎写楽	江戸後期(寛政 6～7 年頃)

常設展「2023 コレクション」

開催期間

2023 年 2 月 27 日(月)～12 月 25 日(月)

作品点数

51 点

展示作品

No.	作品名	作家名	年代	ジャンル
1	三人の人物	アウレリア・ムニョス	1971 年	オブジェ
2	白い海	アウレリア・ムニョス	1986 年	オブジェ
3	テーブル	イヴ・クライン		オブジェ
4	ミツマタ備長炭オブジェ	保坂桂一	平成 13 年	オブジェ
5	無題	武政健夫	平成 19 年	ガラス
6	無題	武政健夫	平成 19 年	ガラス

No.	作品名	作家名	年代	ジャンル
7	太陽	郡和子	令和 4 年	ガラス
8	自然回帰	丁 紹光		シルクスクリーン
9	アイズ・オブ・プレイ	丁 紹光		シルクスクリーン
10	流砂の河	丁 紹光		シルクスクリーン
11	クラウンキャッスル 東京ディズニーランド	ヒロ・ヤマガタ		シルクスクリーン
12	コリチェッラー虹のたつ港	笹倉鉄平		シルクスクリーン
13	虹	安達靖子		タペストリー
14	時間	安達靖子		タペストリー
15	雄弁	エミール＝アントワ ーヌ・ブールデル	1913～23 年	ブロンズ
16	自由	エミール＝アントワ ーヌ・ブールデル	1913～23 年	ブロンズ
17	勝利	エミール＝アントワ ーヌ・ブールデル	1913～23 年	ブロンズ
18	力	エミール＝アントワ ーヌ・ブールデル	1913～23 年	ブロンズ
19	果実のトルソ	エミール＝アントワ ーヌ・ブールデル	1911 年	ブロンズ
20	モノグラム	エミール＝アントワ ーヌ・ブールデル	1921 年(原型制作) 1970 年代 前半(鑄造)	ブロンズ
21	天女の飛翔	北村西望		ブロンズ
22	少年・青い花	ズビネック・セカール	1957 年	ブロンズ
23	半身像	ズビネック・セカール	1964 年	ブロンズ
24	文字	ズビネック・セカール	1968 年	ブロンズ
25	胸像	ズビネック・セカール	1988 年	ブロンズ
26	無題	ズビネック・セカール	1988 年	ブロンズ
27	無題	ズビネック・セカール	1992 年	ブロンズ
28	トルソ	ズビネック・セカール	1959 年	ブロンズ
29	柱	ズビネック・セカール	1967 年	ブロンズ
30	少女像	富永直樹		ブロンズ
31	プライド	コンスタンティン・ ブランクーシ	1905 年頃	ブロンズ
32	旅人	池田満寿夫		ブロンズ
33	神話	池田満寿夫		ブロンズ
34	ノクターン	ル・ホン		リトグラフ
35	ハート アンド ソウル	ル・ホン		リトグラフ
36	ブラックホース	ジャン テイエフェ ン		リトグラフ
37	母性	丁 紹光		リトグラフ
38	癍痕	ズビネック・セカール	1976 年	レリーフ
39	無題	ズビネック・セカール	1976～77 年	レリーフ
40	切付札二枚胴童具足	作者不詳	江戸中期	甲冑
41	永遠の世界	風間美代子	平成 6 年	刺し子

No.	作品名	作家名	年代	ジャンル
42	創世への旅立ち	風間美代子	平成 8 年	刺し子
43	千年の夢	風間美代子	平成 10 年	刺し子
44	生命シリーズ～陽光から宇宙へ～	剣持忠		石彫
45	生命シリーズ～二つの再生～	剣持忠		石彫
46	ヌクトマル	流政之		石彫
47	ペルシャ絨毯	ナガシブール工房		染織品
48	太刀 銘「了戒」	了戒	鎌倉時代(延慶頃)	太刀
49	殺すことのできない人間	フレデリック・フランク		鉄
50	七宝装飾拵	作者不詳	幕末～明治	刀剣
51	太陽	挾土秀平	平成 28 年	日本画

常設展「2023 西洋画コレクション」

開催期間

2023 年 2 月 27 日(月)～12 月 25 日(月)

作品点数

17 点

展示作品

No	作品名	作家名	年代
1	聖衣剥奪	エル・グレコ 工房	17 世紀初頭
2	スピリアート夫人	カレル・ヴァン・ベル	1920 年
3	波	ギュスターヴ＝クールベ	1869 年
4	ジヴェルニーの草原、朝	クロード・モネ	1888 年
5	睡蓮	クロード・モネ	1903～19 年頃
6	木を拾う人	ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロー	1855 年頃～75 年
7	岸辺の小舟(ヴィル・ダブレー)	ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロー	1865 ～ 70 年頃
8	川の女神の姿をした婦人の肖像	ジャン＝マルク・ナティエ	18 世紀
9	テネブル	ジョルジュ・ルオー	1918 年頃～58 年
10	キリストの洗礼	ジョルジュ・ルオー	1918 年頃～58 年
11	ヴェネツィア サン・ジョルジョ・マッジョーレ島	ジョルジョ・デ・キリコ	1950 年代
12	ガブリエルの肖像	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	1904 年頃
13	柳のある川の風景	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	1874 ～ 76 年頃
14	洗濯をする農婦	フィンセント・ファン・ゴッホ	1885 年
15	ボースの風景	モーリス・ド・ヴラマンク	1940 年

No	作品名	作家名	年代
16	海	モーリス・ド・ヴラマンク	1908 年頃～ 55 年
17	ラ・フェルテ・ミロン城	モーリス・ユトリロ	1939 年頃

特別展示

特別展「生誕 140 記念 北大路魯山人展」

開催期間

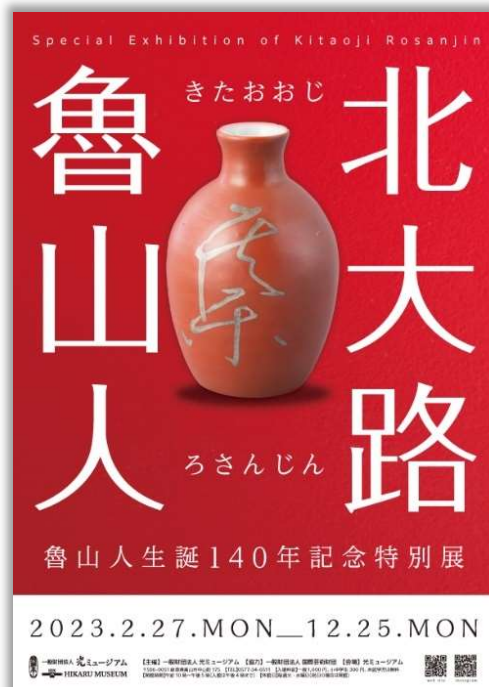
2023 年 2 月 27 日(月)～12 月 25 日(月)

作品点数

57 点

協力

一般財団法人 国際芸術財団

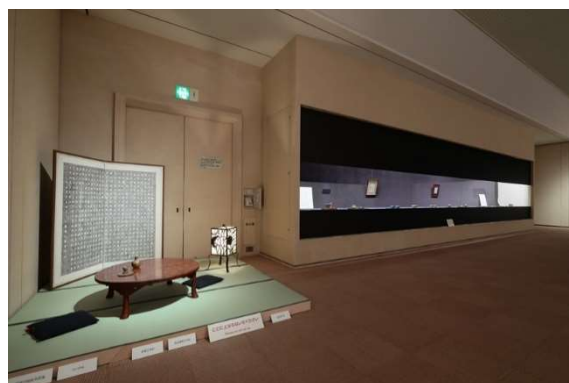
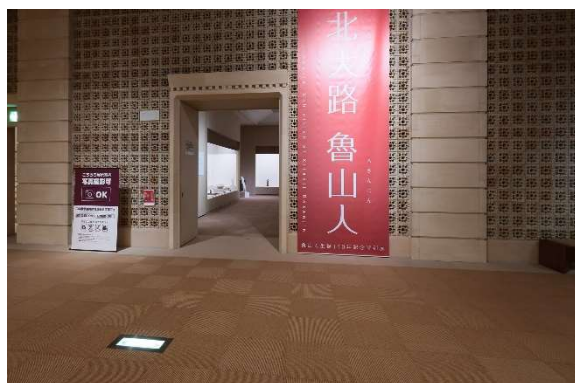


展示概要

北大路魯山人(1883～1959) は書家、篆刻家、美食家、陶芸家など様々な顔を持ち、いずれの分野でも第一級の作家として活躍しました。書家として立ち、美食を追求し、中国の染付や呉須、日本の古陶磁などのエッセンスをもとに、料理を惹きたてる様々な食器を生み出しました。その上、絵画や漆芸にも異才を発揮しています。魯山人ほど古陶磁を研究し、広く古美術の心をくみ取り、それを自分のものにしてしまった芸術家は稀といえます。

魯山人の生誕 140 年を記念して開催する本展では、書画や篆刻をはじめ、染付、黄瀬戸、志野、織部、信楽、備前などの陶磁器約 60 点を展示致しました。

展示の様子





展示作品示

No.	作品	年代
1	雲錦鉢図	昭和 10 年代
2	備前德利型花入	昭和
3	つばき鉢	昭和 13 年
4	色絵紅葉文木葉形鉢	昭和 18 年
5	織部釉陶硯	
6	雲錦大鉢	昭和 16 年
7	備前竹形花入	
8	染付詩文花生	
9	備前銀彩菖蒲絵組皿	
10	赤絵汁次	
11	織部汁次	
12	織部鉢	
13	絵瀬戸格子文台皿	
14	信楽シノギ八寸	
15	銀彩德利	
16	赤呉須黄瀬戸盃	
17	赤志野草文ぐいのみ	
18	金襴手赤玉向付	
19	色絵この葉形平鉢	
20	織部蓋付田楽皿	
21	赤壁之賦 拓本屏風	
22	扁額「青苔窠」	
23	染付福の字丸皿・中	
24	染付福の字丸皿・小	
25	染付福の字額皿	
26	椿紋茶碗銘 花麗	
27	銘々皿岩陰	
28	漆塗葡萄文円卓	
29	椿絵茶碗銘 沙羅	
30	銀三彩蟹線彫文平段鉢	
31	染付麦藁手茶入	
32	織部釉盃	

No.	作品	年代
33	ぐいのみ	
34	信楽土銀彩鉢	
35	刷毛目吉祥鉢	
36	織部丸皿	
37	宗旦菊文鉢	
38	染付赤絵葉味入	
39	黄瀬戸タンパン印花皿	
40	志野ドラ鉢	
41	草文織部長角皿	
42	碧玉釉カブト鉢	
43	みどり釉飯茶碗	
44	櫛目筋織部釉長方皿	
45	鶏流山土刷毛目盃	
46	信楽土徳利	
47	赤絵香合	
48	鉄透置行燈	
49	吹墨吉之字五角形小鉢	
50	古詩鉢	
51	河南天目風茶碗	
52	彩色瓢箪図	
53	赤銀彩徳利「其楽陶々」	
54	水仙画賛	
55	鼠志野草文茶碗	
56	唐津湯碗絵	
57	染付縞文筒茶碗	

特別展「桑原翠邦が求めた書」

開催期間

2023年4月20日(木)～6月5日(月)

作品点数

83点

主催

「桑原翠邦が求めた書」展実行委員会

後援

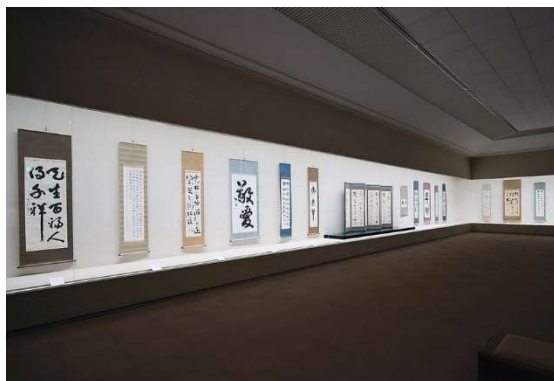
中国大使館、岐阜県、岐阜県教育委員会、高山市、高山市教育委員会、飛騨市、飛騨市教育委員会、下呂市、下呂市教育委員会、岐阜県博物館協会、(一社)高山市文化協会、高山商工会議所、中日新聞社、岐阜新聞社、岐阜放送、Hits FM



展示概要

桑原翠邦は、`現代書道の父、と称される師・比田井天来翁の期待を一身に受け、その学書理論(古典筆法論)を敷衍すべく全国を巡り、その姿は『旅の書家』とも呼ばれました。全国を巡って残した作品は数十万点にのぼり、各地に数多く残されております。書壇とは距離を取りながらも、卓抜した見識と高潔な人格は人々から慕われ、昭和47年(67歳)より平成7年(90歳)に逝去するまで23年間に渡り、東宮御所書道御進講の栄誉に浴し、当時の皇太子殿下(現天皇陛下)、礼宮様(現皇嗣殿下)、紀宮様(現黒田清子様)の書道学習の御進講に奉仕されました。誰もが見惚れる驚異の筆さばきから生み出される作品は多彩で、含蓄と風韻を備え、書の古典名品が持つ健やかな強さを見事に蘇らせています。この展覧会は未発表作を中心に翠邦の作品70点余りを展示。壮年期から晩年まで幅広い年代の作品を揃え、首尾一貫した古典への強い指向性と、また一方で微妙に変化していく翠邦の作風とをお楽しみいただきました。

展示の様子



展示作品

No.	作品	年齢	備考
1	慈 光		
2	高節奉公五十年 百論不動鐵心堅	七十五歳	
3	堂堂意氣白頭漢 一朵菊華色轉鮮		
4	萬 福	五十八歳	長野県佐久市光徳禅寺
5	吾心似秋月 碧潭清皎潔	五十歳	
6	無物堪比倫 教我如何説		
7	楊柳風 梧桐月 芭蕉雨 梅花雪		
8	家住緑巖下 庭蕪更不芟 新藤垂繞繚 古石豎巖纔	五十歳	
9	山果獼猴摘 池魚白鷺銜 仙書一両卷 樹下讀喃喃		
10	湘中琳琅		
11	虎嘯而風察戾 龍起而致雲氣	四十二歳	
12	長 楽		
13	高懷並霽日 雅量洽春風		
14	浄 懷		
15	山中何所有 嶺上多白雲 只可自怡悦 不堪持寄君		光ミュージアム蔵
16	大吉祥	九十歳	
17	樓倚霜樹外 鏡天無一毫 南山與秋色 氣勢兩相高	八十歳	
18	敬 愛		
19	霜松雪柏澗壑邊 紫芝玉樹階庭前	三十三歳頃	
20	宋玉 對楚王問一節	四十五歳	毎日展出品
21	天生百福 人得千祥		
22	紫陽花やよれば蚊のなく花のうら 加藤暁台		
23	夕さればひとりぼっちの杉の樹に		
24	日はえんえんと燃えてけるかも 北原白秋		
25	垂字形中「平 安」	八十歳	
26	臨漢封泥	六十一歳	
27	子孫長久	六十一歳	
28	酒墳墓 畫棺槨	四十七歳	第四回毎日展出品
29	竹圍三面水 松引一庭風		
30	長 楽	五十歳	
31	臨川谷尚亭書扇面（碧水忽開新鏡面 青山都是好屏風）		
32	「雪しぐれ」餘栄	八十歳	心月院蔵 傘寿展出品
33	光	八十三歳	
34	山中無曆日		
35	飛 馨	七十歳	
36	風月無邊 庭草交翠		
37	青山白雲	七十八歳	
38	衆妙之門		
39	垂字形中「親」父天母地		
40	内懷冰清 外涵玉潤		

No.	作品	年齢	備考
41	慈	七十歳	
42	日向南流鵜戸乃社者大和堂尔		
43	日能照里奈賀良山能雨来津		
44	九夏寒岩雪 三冬枯木花		
45	必有餘慶		
46	仁	八十六歳	
47	寶網漫空	八十二歳	
48	堦擁春雲敞虎衛 殿開初日照龍鱗		
49	遊 目 國訓与夢相通	八十七歳	
50	少年易老學難成 一寸光陰不可輕		
51	未覺池塘春草夢 階前梧葉已秋聲		
52	吉事漁樵耕牧 文場雪月風花	七十歳	
53	臨爨宝子碑	八十七歳	
54	集臨漢武梁祠堂畫像題字		
55	臨比丘道匠造像記		
56	臨礼器碑碑陰		
57	臨張玄墓誌銘	四十三歳	日本書道美術院展出品
58	臨賀知章孝經	上京前 昭和三年頃	
59	開 祥		
60	臨魯孝王刻石	五十四歳	第三回書宗院展出品
61	臨集王聖教序	五十九歳	第八回書宗院展出品
62	臨定国寺碑	五十七歳	
63	臨潘存臨高貞碑	六十六歳	第十五回書宗院展出品
64	臨灌頂記	五十五歳	第四回書宗院展出品
65	臨好太王碑	八十四歳	第三十三回書宗院展出品
66	臨貫名菰翁書松居遊見叟碑稿	六十九歳	
67	臨争坐位稿	八十四歳	現代巨匠展出品
68	臨邨閣頌	四十七歳	第四回毎日展出品
69	集臨甲骨字		
70	臨殷代銅器銘文	五十三歳	
71	臨爨龍顔碑		
72	臨晋祠銘	七十六歳	臨書聚英掲載
73	貼り交ぜ画帖「壽慶帖」	八十八歳	
74	貼り交ぜ画帖「魚目小品一如帖」	八十二歳	
75	貼り交ぜ画帖	九十歳	
76	画帖「臨古鉢・古匱文」	五十三歳	個展出品
77	画帖「臨風信帖」	三十六歳	
78	一穗寒燈照眼明 沈思默坐無限情 回頭知已人既遠		
79	丈夫畢竟豈計名 世難多事萬骨枯 廟堂風雨幾變更		
80	年如流水去不返 人似草木争春榮 邦家前路不容易		
81	三千餘萬奈蒼生 山堂夜半夢難結 千岳萬峯風雨聲		
82	垂字形中「仁・愛・和・敬」		
83	風心雲想	四十七歳	第四回毎日展出品

特別展「古代アンデス文明展 ～黄金と土器と五色織りなす布の神秘～」

開催期間

2023 年 6 月 10 日(土)～12 月 25 日(月)

作品点数

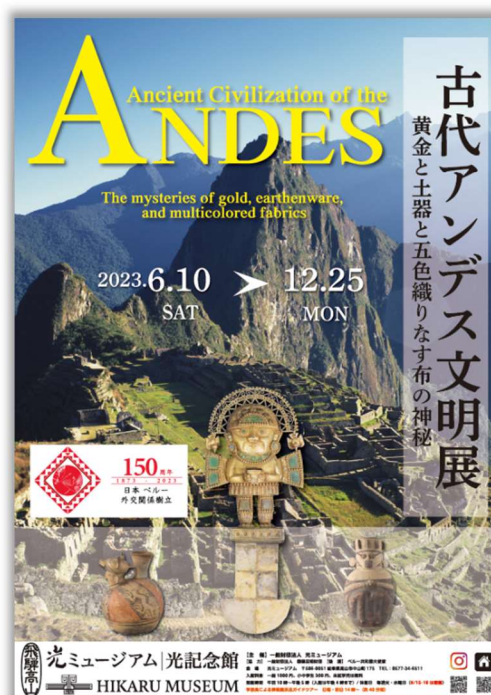
24 点

協力

一般財団法人 国際芸術財団

後援

ペルー共和国大使館

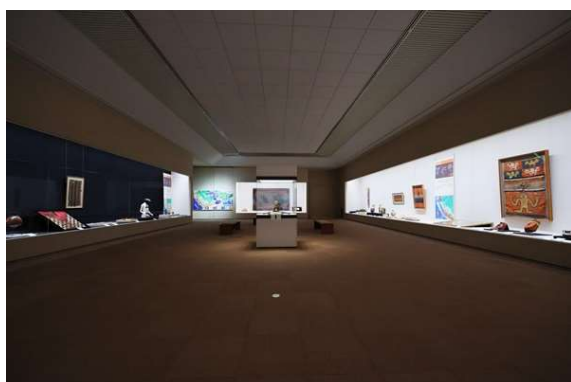


展示概要

本年は日・ペルー外交関係樹立 150 周年に当たります。ペルーは日本が中南米で国交を結んだ最初の国であり、世界遺産マチュピチュのあるウルバンバ郡は、高山市と友好都市提携も結んでいます。

南米アンデスでは紀元前 3000 年頃より、各地に多様な自然環境を土台とした様々な文化が生まれ、4000 年以上に渡り繁栄しました。特に 15 世紀にはインカ族がアンデス全域を統一し、インカ帝国を築き上げました。その中心地がペルー南東のクスコです。本展ではインカをはじめ、パラカス、ナスカ、モチェ、ティワナク、チムー、チャンカイなど、アンデス各地に起こった諸文化の出土品(当館所蔵)を約 90 点展示し、「永遠の生命」の象徴であった黄金、ユニークな造形の土器、千年以上前の色鮮やかな織物などをお楽しみ頂きました。

展示の様子





展示資料

No	資料名	時代・文化期	年代
1	猫科動物文様鎧形壺	クピスニケ文化	1200B.C.～800B.C.
2	把手付き壺	サリナール文化	200B.C.～A.D.1
3	猫科動物文様布	パラカス文化	400B.C.～A.D.1
4	人物文様刺繍布	パラカス文化	400B.C.～A.D.1
5	ピューマ・蛇文様太鼓	パラカス文化	400B.C.～A.D.1
6	首級・槍を持つ戦士文様綴れ織布	パラカス文化	400B.C.～A.D.1
7	動物文様鉢	ナスカ文化	A.D.1～A.D.750
8	人物文様円筒土器	ナスカ文化	A.D.1～A.D.750
9	クモ文様綴れ織布	ナスカ文化	A.D.1～A.D.750
10	人面編み織縁飾り	ナスカ文化	A.D.1～A.D.750
11	羽根冠	ナスカ文化	A.D.1～A.D.750
12	魚文様刺繍布	ナスカ文化	A.D.1～A.D.750
13	ハチドリ文様橋付き土器	ナスカ文化	A.D.1～A.D.750
14	金製人面飾り	ナスカ文化	A.D.1～A.D.750
15	ハチドリ飾り黄金匙	ナスカ文化	A.D.1～A.D.750
16	金製飾りピン	レクワイ文化	A.D.50～A.D.700
17	人頭付き動物文様壺	レクワイ文化	A.D.50～A.D.700
18	戦士文様鎧形壺	モチエ文化	A.D.100～A.D.850
19	家屋鎧形壺	モチエ文化	A.D.100～A.D.850
20	人物形壺	モチエ文化	A.D.100～A.D.850
21	神人文様綴れ織布	モチエ文化	A.D.100～A.D.850
22	神面文様ケー口	ティワナク文化	A.D.500～A.D.1150
23	人面付き双耳壺	ティワナク文化	A.D.500～A.D.1150
24	女性座像	ティワナク文化	A.D.500～A.D.1150
25	コンドル頭部付きケー口	ティワナク文化	A.D.500～A.D.1150
26	金製飾り	ティワナク文化	A.D.500～A.D.1150
27	幾何学文様把手付き壺	ティワナク文化	A.D.500～A.D.1150
28	幾何学文様綴れ織布	ティワナク文化	A.D.500～A.D.1150
29	人物文様羽根織貫頭衣	ワリ文化	A.D.600～A.D.1000
30	絞り染パッチワーク	ワリ文化	A.D.600～A.D.1000
31	箱型帽子付き羽根人面	ワリ文化	A.D.600～A.D.1000
32	木製仮面	ワリ文化	A.D.600～A.D.1000
33	羽根織り貫頭衣	イカ・チンチャ文化	A.D.1000～A.D.1470
34	投石紐(オンダ)	イカ・チンチャ文化	A.D.1000～A.D.1470
35	鳥文様紋織布	イカ・チンチャ文化	A.D.1000～A.D.1470
36	人物土偶	チャンカイ文化	A.D.1000～A.D.1470
37	杯を持つ人物壺	チャンカイ文化	A.D.1000～A.D.1470
38	男性土偶	チャンカイ文化	A.D.1000～A.D.1470
39	銀製猿付きピン	チャンカイ文化	A.D.1000～A.D.1470

No	資料名	時代・文化期	年代
40	双耳壺	チャンカイ文化	A.D.1000～A.D.1470
41	鳥文様綴れ織布	チャンカイ文化	A.D.1000～A.D.1470
42	パカエ鍔形壺	チムー文化	A.D.900～A.D.1470
43	人物形壺	シカン文化	A.D.700～A.D.1375
44	エビ鍔形壺	チムー文化	A.D.900～A.D.1470
45	エイ綴れ織布	チムー文化	A.D.900～A.D.1470
46	織機	チムー文化	A.D.900～A.D.1470
47	銀製仮面	シカン文化	A.D.700～A.D.1375
48	鳥形銀製品	チムー文化	A.D.900～A.D.1470
49	金製儀式用ナイフ	シカン文化	A.D.700～A.D.1375
50	金製仮面	シカン文化	A.D.900～A.D.1470
51	鳥飾り付き皿	インカ文化	A.D.1430～A.D.1532
52	アリバロ尖底壺	インカ文化	A.D.1430～A.D.1532
53	市松文様貴頭衣	インカ文化	A.D.1430～A.D.1532
54	銀製装飾品	インカ文化	A.D.1430～A.D.1532
55	金属製ケー口	インカ文化	A.D.1430～A.D.1532
56	銀製把手付きケー口	インカ文化	A.D.1430～A.D.1532
57	銀製ケー口	インカ文化	A.D.1430～A.D.1532
58	金属製人物把手付きケー口	インカ文化	A.D.1430～A.D.1532
59	銀製把手付きケー口	インカ文化	A.D.1430～A.D.1532
60	幾何学文様足飾り	インカ文化	A.D.1430～A.D.1532
61	蛇文様布	インカ文化	A.D.1430～A.D.1532
62	銀象眼木製ケー口	植民地時代	A.D.1533～1824
63	戦士文様木製ケー口	植民地時代	A.D.1533～1824
64	植物文様木製ケー口	植民地時代	A.D.1533～1824
65	人物文様木製ケー口	植民地時代	A.D.1533～1824
66	石彫四頭牛	植民地時代	A.D.1533～1824

企画展示

企画展「宮腰敏一展」

開催期間

2023 年 2 月 27 日(月)～4 月 17 日(月)

作品点数

24 点

協力

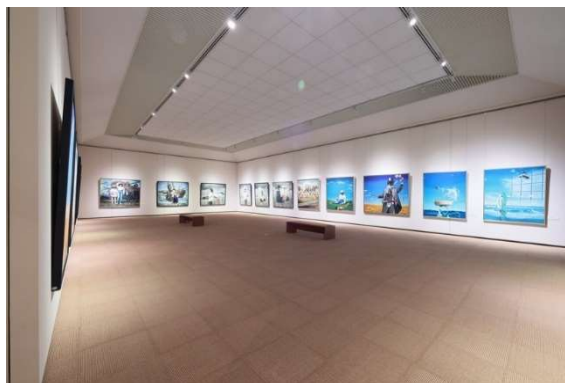
一般財団法人 国際芸術財団



展示概要

独立美術協力会 会員宮腰敏一氏は京都府出身の油彩画家です。高校時代プロ野球選手を夢んでいた同氏は、家庭の事情で断念し、自暴自棄になっていました。そのような折、恩師から絵を描くことを勧められたことが画家を目指すきっかけだったと言えます。同氏の作品の主なテーマは「世の中への願い」でオスプレイを背景に子どもを描くなど「世の中が平和であり、皆が幸福に暮らせますように」という願いが込められています。独立展初入選から近年の出品作など約 20 点をご覧ください。

展示の様子





展示作品

No	作品名	製作年
1	願歌 B	1976
2	無題	1976 頃
3	昼下がりの夢 I	1978
4	昼下がりの夢 II	1978
5	昼下がりの夢 A	1979
6	昼下がりの夢 C	1979
7	うぬぼれ屋のマジシャン	1992
8	うぬぼれ屋のマジシャン	1992
9	昼下がりの夢	1993 頃
10	晩夏	2002
11	晩夏	2002
12	晩夏 I	2002
13	明日への記憶	2005
14	彼方 I	2005
15	彼方 II	2005
16	明日への記憶	2010
17	明日への伝言	2011
18	明日への祈り III	2013
19	明日の祈り I	2013
20	あしたはきっとはれる	2014
21	あしたはきっとはれる	2015
22	PLEASE	2017
23	TOMORROW	2018
24	ネバーギブアップ	2021

企画展「キャシー中島 楽園のキルト展 ～ハワイの風をあなたに～」

開催期間

2023 年 6 月 17 日(土)～9 月 4 日(月)

作品点数

20 点

協力

一般財団法人 国際芸術財団



展示概要

ハワイ生まれで横浜育ちのキャシー中島さんはタレントとして活動する一方、パッチワーク及びキルト作家として活躍されています。

キルトは、各家庭で作られ、それを代々伝えていくという家宝のようなものです。本展では明るい色合いとおおらかなデザインで自然のモチーフが生き生きと表現された、ハワイアンキルト 133 点(大型作品 20 点、中型作品 12 点、クッション・バック・小物 101 点、)を展示しました。

キャシーさんがキルトで描く、生まれ故郷マウイ島の青い海や緑の木々、色とりどりに咲き乱れる花々などを通して、ハワイの風や魂(ハワイアンマナ)を感じていただければ幸いと考えました。

”ALOHA

楽園のキルト展にようこそ。

高山という素敵な場所で私のキルトをご覧くださいことになりました。

お話をいただいた時からずーっと考えて、明るく、ハワイの風を感じるような楽しいキルト展にしたいなと思いました。

楽園のキルトと題して、私らしいキルトを展示しております。

日常の喧騒を忘れてこの静かな美術館でゆったりとした時間をお過ごしください。

50 年間キルトに恋して縫い続けてきた私の作品たち。

楽園のキルトをお楽しみください。

キャシー中島”

展示の様子



展示作品

No	作品名
1	10年愛ローズ
2	クラウンとカヒリ マウイローズに囲まれて
3	ラハイナ・ナニ (美しいラハイナ)
4	メモリー オブ アイリス
5	シャワーツリー(連作)
6	シャワーツリー(連作)
7	シャワーツリー(連作)
8	シャワーツリー(連作)
9	シャワーツリー(連作)
10	シャワーツリー(連作)
11	シャワーツリー(連作)
12	シャワーツリー(連作)
13	モアナラニ
14	ティファニーにあこがれて
15	オータム ウォーターリリー
16	いつか見た風景
17	パルテノンのバラ
18	ブルゴーニュの窓辺
19	ローズララバイ
20	なつかしいアイルランドポピー

企画展「川合玉堂生誕 150 年記念 大観と玉堂 近代日本画のパイオニア」

開催期間

2023 年 9 月 9 日(土)～12 月 25 日(月)

作品点数

15 点

協力

一般財団法人 国際芸術財団



展示概要

川合玉堂は、日本の原風景ともいべき四季の山河と、そこで生きる人々をさりげなく描いて郷愁を誘い、横山大観は、大らかな画風と人間的な度量の大きさに、国粋を発揮して新興日本の文化開発に貢献しました。玉堂生誕 150 年にあたる本年、個性や作風は違えども近代日本画壇を大きく牽引した二巨匠の作品を、一堂にご覧いただきました。

展示の様子



展示作品

No	作品名	作家名	年代
1	湖山月明	川合玉堂	昭和 2 年
2	蓬萊群鶴	川合玉堂	大正 4 年
3	山村積雪	川合玉堂	明治末頃
4	夏冬山水	川合玉堂	大正 10 年
5	湖村夕照	川合玉堂	明治 43 年
6	古城春夕	川合玉堂	昭和 17 年
7	乾坤燿く	横山大観	昭和 18 年
8	不盡山	横山大観	大正 9 年
9	海浜	横山大観	明治 36 年
10	行く春	横山大観	明治 33 年
11	暮色	横山大観	大正中期～昭和初期
12	月下の雁	横山大観	大正 2 年頃
13	龍蛟躍四溟	横山大観	昭和 11 年頃
14	秋色	横山大観	昭和 18 年
15	不盡山	横山大観	昭和

普及活動

一般向け活動

実施にあたって

美術館・博物館が行う教育は、展示のほかに講演・講座をはじめとする多様な形態の学習支援活動がある。さらに、興味・関心を引き出す手法を開発したりアミューズメント性を高めることで、幼児から高齢者まで誰もが気軽に自発的に学習したり、知を愉しむことのできる場となる。当館のレプリカ作り、ストラップ作りや謎解き等は、楽しく学び、美術館・博物館に親しみを感じて頂く事を目的とする。

体験学習

レプリカストラップづくり！

日 時 令和5年 3 月～12月
(土日祝日、GW、お盆期間、SW)
場 所 飛騨展示室体験学習コーナー
対 象 4歳以上
参加者 494名
参加費 300円



内容

アンモナイト、三葉虫、巻貝の化石から取った型の中からいずれかを選び、2色の樹脂を入れてガラスの装飾をし、レプリカを作る体験学習。

状況

対応できる人数と会場の広さを検討した結果、会場を飛騨展示室内に移動。人手が必要な時は、展示室担当が応援に入ることによってフォローが可能になった。また、レプリカ用の型取りに使用した化石を地下3階の出入り口付近に展示したところ、作成したレプリカと見比べる姿も見られるようになった。

レプリカストラップづくり！「ティラノサウルスの歯」

日 時 令和5年7月15日～8月27日

土曜日、日曜日、祝日、お盆期間

場 所 飛驒展示室

対 象 4歳以上

参加者 160名

参加費 500円



内容

恐竜の歯の型にお湯で柔らかくした黒色の樹脂を入れて固めレプリカを作る体験学習。学名の札とストラップを付けて完成。

状況

恐竜好きの子供たちに人気。通常のレプリカの倍の樹脂を扱うため、型に入れる作業に手間取る参加者も見られた。出来上がったレプリカの鋸歯を見て「本当にギザギザしている」と家族に見せていた。

ビーズ付きまがたまストラップを作ろう！

日 時 令和5年3月～12月

(土日祝日、GW、お盆期間、SW)

場 所 飛驒展示室体験学習コーナー

対 象 小学1年生以上

参加者 578名

参加費 300円



内容

カラフルなオープン粘土で作った勾玉に紐を通し、ビーズをトッピングしてストラップを作る体験学習。

状況

会場の広さと担当人数のギャップ解消の為、会場を飛驒展示室の体験学習コーナーに移動した。参加人数をコントロールしつつ、状況に応じて展示室担当からのフォローを得られ、参加者を受け入れしやすい環境になった。

三色摺り版画体験

日 時 春休みの土日祝日、
GW、お盆期間、SW
場 所 地下2階図書コーナー
対 象 小学1年生以上
参加者 86名
参加費 300円



内容

絵師・彫師・摺師の共同作業でできあがる浮世絵版画。版木に絵の具をぬり、和紙をのせてバレンでこする摺りの体験。季節によって版画の種類を変更。

状況

通年では行わず、春休み・ゴールデンウィーク・お盆期間・シルバーウィークの期間限定で開催した。

謎解き



場 所 館内
対 象 5歳以上
参加者 1,334名
参加費 200～400円

内容

館内をまわりながら出題された謎を解き、ゴールを目指す。出題の内容は展示に絡めた内容であり、ゲームに参加しながら学習を行うことができる。(レベルは1～4までの4種類から選択できるようにした)

外部連携活動

□出張美術館

持参作品

〔小学校〕

『東海道五十三次』…………… 歌川広重

興津・興津川

荒井・渡舟ノ図

宮・熱田神事

四日市・三重川

阪之下・筆捨嶺

土山・春之雨

〔中学校〕

『ほととぎすと遊女』…………… 駿斎連馬

『名所江戸百景』…………… 歌川広重

はねたのわたし弁天の社

愛宕下藪小路

市ヶ谷八幡

目黒新富士

真乳山山谷堀夜景

神田紺屋町

実施校一覧

No.	学校名	日程	曜日	時限	時間	クラス 人数	実施場所
1	荏川小・中	10月17日	(火)	小 2 時限 中 4 時限	9:20-12:15	小 5-6 年合同 16 名 中 1-2 年合同 12 名	1 階 美術室
2	宮中学校	10月18日	(水)	5 時限	13:05-13:55	A 組 23 名	1 階 美術室
3	清見中学校	10月20日	(金)	5 時限	13:00-13:50	1 組 22 名	1 階 美術室
4	三枝小学校	10月26日	(木)	3 時限	10:30-11:15	1 組 18 名	3 階 図工室
5	中山中学校	10月27日	(金)	2-5 時限	8:40- 14:00?	1-4 組 126	2 階 美術室
6	東小学校	11月8日	(水)	2-3 時限	9:20-11:10	1-2 組 62 名	2 階 多目的室
7	宮小学校	11月13日	(月)	3 時限	10:30-11:15	1 組 23 名	2 階 図工室
8	丹生川中学校	11月15日	(水)	5-6 時限	13:00-14:50	A-B 組 43 名	3 階 多目的室
9	松倉中学校	11月16日	(木)	2-6 時限	9:20-15:05	A-E 組 151 名	2 階 美術室
10	北小学校	11月17日	(金)	1-4 時限	10:30-15:20	1-4 組 123 名	1 階 図工室
11	栃尾小学校	11月20日	(月)	3 時限	10:15-11:00	1 組 8 名	1 階 生活科室
12	久々野小学校	11月21日	(火)	3 時限	10:25-11:10	A 組 35 名	3 階 イングリッシュルーム
13	国府小学校	11月22日	(水)	2-4 時限	9:30-12:20	1 組 27 名 2 組 27 名 3 組 27 名	北舎 1 階 図工室

No.	学校名	日程	曜日	時限	時間	クラス 人数	実施場所
14	本郷小学校	11月27日	(月)	3時限	10:30-11:15	1組 7名	1階 図工室
15	東山中学校	11月28日	(火)	2-4時限	9:20-12:10	2年生 A-C組 89名	3階 美術室
16	花里小学校	11月29日	(水)	3-4時限	10:25-12:05	1-2組 41名	1階 図工室
17	丹生川小学校	12月6日	(水)	5-6時限	13:10-14:50	1組 37名	3階 図工室
18	西小学校	12月8日	(金)	3時限	10:40-11:25	1組 26名	4階 理科室
19	新宮小学校	12月11日	(月)	3-5時限	10:25-14:20	1-3組 77名	
20	江名子小学校	12月12日	(火)	2-3時限	9:30-11:25	1-2組 40名	1階 図工室
21	清見小学校	12月14日	(木)	5時限	13:35-14:20	1組 22名	2階 図工室
22	南小学校	12月15日	(金)	2-3時限	9:25-11:15	1-2組 59名	1階 図工室
23	日枝中学校	12月21日	(木)	2-6時限		1年生 1-5組 150名	

※学年の表記がない場合、小学校は6年生、中学校は3年生

学校数 24校

受講人数 1291名

□学校連携活動

○岐阜女子大学 書道部練成会

会期:令和5年8月29日(火)～8月31日(木)

内容:

岐阜女子大学書道部に練成会会場を提供。学生はミュージアムの見学と作品制作を行った。また、練成会后、学生が制作した作品30点を1階ホールに展示した。

今回は飛騨高山大学連携センターの協力で、高山市内の高校書道部の生徒を招き、合宿風景を見学してもらうとともに、生徒が持参した作品を教授に講評していただいた。

参加者:岐阜女子大学▶教職員4名、学生35名。

斐太高等学校▶指導者1名、2年男子生徒1名

高山西高等学校▶2年女子生徒2名

飛騨高山高等学校▶教員1名、1年女子生徒1名

○佐賀大学 作品撮影協力

大学院生に対し、修士論文研究のため、当館所蔵・速水御舟「罌粟」(六曲一双屏風)の熟覧・撮影・模写を許可した。

日時:令和5年12月7日(木)13:00～17:00

対象:佐賀大学 地域デザイン研究科 修士課程学生3名

場所:光ミュージアム 能舞台裏控室

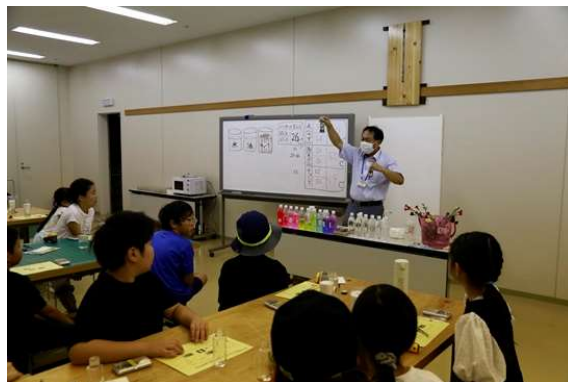
○日本大学 科学教室

ハーバリウム作り

日時:7月31日(月)10:30~12:30

参加費:無料

場所:光ミュージアム



内容

小学生を対象に、植物標本のハーバリウム作りの体験を通して植物の保存・生態について学習する機会を設けた。小学生 19 名が参加した。

○中山中学校・日枝中学校 生徒職場体験

日時:9月27日(水)~29日(金)

内容:

地元中学校の職場体験の一環として、中山中学校、日枝中学校の生徒 3 名に、博物館の役割や資料の取り扱いを説明し、展示作業、体験学習の準備・案内など、学芸員の仕事を 3 日間で体験していただいた。

○斐太高校・ムンド・デ・アレグリア学校交流活動

日時:8月21日(月)

内容:

日本・ペルー外交関係樹立 150 周年、高山市・ウルバンバ郡友好都市提携 10 周年を記念し、また、「子供たちの未来に、芸術文化の『光』を。」をテーマとしたクラウドファンディングのプロジェクトの一環として、ムンド・デ・アレグリア学校(浜松市にある在日外国人学校)と斐太高校の両校生徒の交流を行った。ムンド・デ・アレグリア校の生徒によるペルーの民族舞踊や、斐太校の生徒による高山の文化についての紹介プレゼンなどを通して、相互の文化への理解を深める機会となった。

その他連携活動

○地域お仕事発見隊

日時：令和5年7月29日(土)、30日(日)、8月5日(土)

内容：

高山市内在住の小中学生が地元企業の「お仕事体験」をするプロジェクトに当館も参加し、各日程3名の小学生が当館の仕事を体験した。



○高山市文化協会事業「子ども夢創造事業」

文化芸術を身近に感じる機会を子供の頃から充実させることで、豊かな感性や想像力を育み、子どもたちの大きな夢を育てることを目的とした高山市の取り組みに協力した。

①ナスカ地上絵デザインコースター・ランチョンマット制作

日 時 8月7日(月)、10日(木)

場 所 光ミュージアム

参加者 65名

内容

特別展「古代アンデス文明展」見学後、ナスカ地上絵の型紙にインクを吹きかけナスカ地上絵デザインのコースターやランチョンマットの制作を行った。



②-1 福井恐竜博物館・福井歴史博物館の見学ツアー

日 時 11月26日(日) 福井恐竜博物館・福井歴史博物館の見学ツアー

参加者 32名(当館より学芸員2名同行)

②-2 恐竜折り紙と化石のストラップを作ろう！

日 時 令和 5 年12月3日

場 所 高山市民文化会館4階-4

対 象 小学4年～中学生

参加者 28名

内容

ヴェロキラプトル、スーパーサウルス、ティラノサウルスなど、恐竜の折り紙とティラノサウルスの歯のレプリカストラップづくり

状況

恐竜の折り紙は難易度が高いため、すべての種類を完成できた子は少なかった。

ティラノサウルスの歯のレプリカは取り出すときのワクワク感と、出来上がったときの満足感に嬉しそうな様子だった。

調査研究

○美術品状態調査

日時:12 月 4 日

内容:

美術修復家に展示中の西洋絵画 17 点を目視で調査の上、後日状態調査書を提出いただいた。今後も継続的に調査を依頼し、その指導に従った美術品の保存管理を行う。

○ゴッホ作品研究活動協力

ゴッホ美術館、クレラー＝ミュラー美術館、オランダ美術史研究所の共同設立によるゴッホ作品に特化したオンラインデータベース「Van Gogh Worldwide」の研究協力のため、当館所蔵のゴッホ作品「洗濯をする農婦」の画像提供ならびにメタデータを調査の上、提供した。

また、オランダ美術史研究所による「キャンパス糸本数の測定プロジェクト」に協力し、ゴッホ作品の X 線、赤外線、側光写真撮影した画像データを提供した。後日、同研究所よりゴッホ作品のキャンパス糸に関する解析データを送付していただいた。

「生誕110年 佐藤太清展 水の心象」

板橋区立美術館 2023/4/29～6/4

八幡浜美術館 2023/7/1～8/20

資料名	作者名	制作年月日
旅愁	佐藤太清	昭和 61 年

「美を競う肉筆浮世絵の世界」

長崎歴史文化博物館 2023/4/22～6/11

水野美術館 2023/7/29～9/24

資料名	作者名	制作年月日
三味線ひく坐女	作者不詳(菱川派)	江戸前期(元禄)
立ち美人	古山師政	江戸中期(寛保～延享)
立ち美人	作者不詳(懷月堂派)	江戸中期(正徳～享保)
二世中村七三郎	東川堂里風	江戸中期(享保)
立ち美人	梅翁軒永春	江戸中期(正徳～享保)
遊女と猫	梅翁軒春信	江戸中期(正徳～享保)
奈良春日若宮社祭礼絵巻	西川照信	江戸中期(正徳)
立ち美人	宮川長春	江戸中期(正徳～享保)
柳下布さらし	宮川長春	江戸中期(宝永～寛延頃)
見立琴高仙人	宮川長春	江戸中期(正徳～享保)
桜下美人	宮川一笑	江戸中期(元文)
鐘馗と美人	宮川一笑	江戸中期(元文末期～寛保)
蚊帳美人	宮川長亀	江戸中期(享保～寛保)
色子立姿	山崎龍女	江戸中期
遊女と禿	勝川春水	江戸中期(宝暦～明和)
見立遣唐使	川又常行	江戸中期(享保末期～寛保)
精霊流し	川又常正	江戸中期(寛保～宝暦)
遊歩美人	作者不詳(西村・石川派)	江戸中期(寛保～宝暦)
鼓打つ女	寿香亭吉信	江戸中期(宝暦頃)
唐美人	司馬江漢	江戸後期(天明)
歯を磨く美人	磯田湖龍斎	江戸後期(天明)
縁先に座る娘と金魚鉢を持つ少女	至信(西村・石川派)	江戸中期(安永中期頃)
立ち美人	鳥居清倍	江戸中期(正徳～享保)
遊女と禿	二代鳥居清元	江戸後期(寛政)

資料名	作者名	制作年月日
雪中傘さし美人	二代鳥居清満	江戸後期(文化～弘化)
追い羽根	東艶斎花翁	江戸中期(寛保～寛延)
精霊祭	川枝豊信	江戸中期(享保)
雛人形を抱く遊女	月岡雪鼎	江戸中期(明和初期)
見立曾我十郎と虎御前	月岡雪鼎	江戸中期(明和 2 年)
男舞	月岡雪鼎	江戸中期(明和末期～安永 7 年頃)
遊女	月岡雪鼎	江戸後期(天明 2-3 年)
夕暮れの庭	墨江武禅	江戸中期(安永)
美人遊戯	月岡雪斎	江戸後期(寛政～天保 10 年)
大原女	作者不詳(京洛諸画人)	江戸後期(天保～慶応頃)
紐を結ぶ女	祇園井特	江戸後期(文化年間)
子守り	祇園井特	江戸後期(文化 12 年)
遊女と禿	大石真虎	江戸後期(文政)
花吹雪	三畠上龍	江戸後期(天保)
紅葉の下	吉原真龍	江戸後期(天保～弘化)
汐汲みの舞	吉原真龍	江戸後期(天保～弘化)
潮干狩	吉原真龍	江戸後期(天保～弘化)
物思う女	周幽斎夏龍	江戸後期(寛政～文化頃)
舞姫	昌盛	江戸後期(天保以降)
ほろ酔い	喜多武清	江戸後期(享和～嘉永)
両国花火	作者不詳(江戸諸画人)	江戸後期(文政～天保)
美人と達磨	勝川春章	江戸後期(天明 7-8 年)
金太郎	勝川春英	江戸後期(享和～文化)
弁慶	勝川春英	江戸後期(享和～文化)
湯上り美人	勝川春扇	江戸後期(文化 3～文政 2 年頃)
春風歌妓歩行	勝川春常	江戸中期(安永 6-天明 7 年)
月を見る美人	北尾重政	江戸後期(天明～寛政)
螢狩り	岩瀬京水	江戸後期～幕末(文政～安政)
桜下美人	窪俊満	江戸後期(文化)
雨乞小町	窪俊満	江戸後期(享和～文化)
雪見美人	水野廬朝(北尾派)	江戸後期(寛政)
遊女と禿	琴風舎豊麿	江戸後期(寛政)
南駅の女	作者不詳(鳥山・喜多川派)	江戸後期(文化頃)
旅の女	喜多川藤麿	江戸後期(享和～文化前期頃)
母と子	喜多川行麿	江戸後期(文化)
萩と女	喜多川月麿	江戸後期(享和頃)
傘持つ美人	喜多川吉麿	江戸後期(文化)

資料名	作者名	制作年月日
座敷の二美人	喜多川長麿	江戸後期(文化～文政)
遊女	恋川春政	江戸後期(享和～文化)
小野小町	鳥文斎栄之	江戸後期(寛政)
浅草歳の市	鳥文斎栄之	江戸後期(文化)
芸者立姿	一貫斎栄尚	江戸後期(寛政～文化)
遊女と禿	玄珠斎栄暁	江戸後期(文政)
浴後美人	高田栄晁	江戸後期(文化)
遊女	礪川亭一指	江戸後期(文化)
円窓の三美人	鳥園斎 栄深・島 君山	江戸後期(寛政)
立ち美人	溪斎英泉(菊川派)	江戸後期(文政)
遊女と禿	歌川豊春	江戸後期(寛政)
立ち美人	歌川国政	江戸後期(寛政 8 年頃)
立ち美人	歌川国安	江戸後期(文政頃)
三囲の三代目尾上菊五郎と芸妓	歌川国次	江戸後期(文政頃)
爪切り	歌川国宗	江戸後期(文政頃)
犬と遊ぶ美人	歌川国宗	江戸後期(文政頃)
杜若と美人	歌川国宗	江戸後期(文政頃)
三味線の稽古	歌川国勝	江戸後期(天保～弘化)
秋色女	歌川国英	江戸後期(文政頃)
簾をあげる女	歌川国重	江戸後期(文政頃)
母と子	歌川国久	江戸後期(文化)
虫を採る女	歌川国久	江戸後期(文化前期)
遊女と禿	歌川豊広	江戸後期(寛政)
遊女	鳥羽広丸	江戸後期(文化後期)
月夜雁を聴く女	歌川広重	江戸後期(安政前期)
渡月橋	二代歌川広重	江戸後期(安政～慶応元年)
足洗い	歌川貞景	江戸後期(文政～天保)
二美人	歌川貞秀	江戸後期(天保)～明治初期頃
遊女と禿	歌川国歳	明治初期頃
五俳優	豊原国周	明治 3～6 年
縁台美人	歌川国芳	江戸後期(嘉永)
桜下美人	月岡芳年	幕末(慶応)～明治初年頃
日蓮	葛飾北斎	江戸後期(文化 8～文政 3 年)
日	葛飾北斎	江戸後期(寛政 12～文化 5 年)
龍	葛飾北斎	江戸後期(寛政 12～文化 5 年)
月	葛飾北斎	江戸後期(寛政 12～文化 5 年)
豫讓	葛飾北斎	江戸後期(弘化 3 年)
浅妻舟	葛飾北斎	江戸後期(文化～文政)

資料名	作者名	制作年月日
田植え	蹄斎北馬	江戸後期(文化～天保)
桜下美人	蹄斎北馬	江戸後期(文化～文政 5 年)
ほととぎすと遊女	駿斎連馬	江戸後期(文化～文政)
遊女道中	昇亭北寿	江戸後期(寛政～文化)
遊女に憧れる女	抱亭五清(北鷺)	江戸後期(文化頃～天保 6 年)
菊を愛でる美人	抱亭五清(北鷺)	江戸後期(文化～文政)
娘と従者	柳々居辰斎	江戸後期(寛政後期～文政)
行燈美人	葛飾北明	江戸後期(文化～文政)
燈台	葛飾為直	江戸後期(天保～安政)
見立普賢菩薩	葛飾為直	江戸後期(天保～安政)
二つ枕	葛飾雷周	江戸後期(文化～文政頃)
炭竈図	歌川広重	江戸後期(安政前期)
桜下遊女と禿図	歌川豊國	江戸後期(寛政中期)
若衆と美人図	宮川一笑	江戸中期(元文～享保)

「近代日本画の流れ—光ミュージアムコレクションより—」

奈良県立万葉文化館 2023/8/5～9/24

資料名	作者名	制作年月日
権八小紫	鐔木清方	大正 12 年頃
湖辺	菱田春草	明治 35 年
晴日	伊東深水	昭和 16～17 年
三保之不二山	横山大観	昭和 28 年頃
蓬莱山	横山大観	昭和 14 年頃
三美人之図	上村松園	明治 41 年
瀑布(流動)	菱田春草	明治 34 年
竹林	横山大観	昭和 29 年頃
花鳥図	堂本印象	昭和 25 年頃
金鞍白馬	川端龍子	昭和 25 年頃
観音	安田靫彦	大正 14 年頃
秋趣	橋本雅邦	明治 10 年頃
美人納涼図	上村松園	大正時代
凧	東山魁夷	昭和 15 年
冬晴	竹内栖鳳	昭和 10 年頃
蝗(バッタ)	木村武山	明治 33 年頃
秋の月	横山大観	明治 33 年頃

資料名	作者名	制作年月日
武将	前田青邨	昭和 5 年頃
怒涛	横山大観	明治 34 年頃
紅葉	鏑木清方	昭和 22 年頃
武陵桃源	下村観山	大正期
若菜つみ	立石春美	昭和初期
行灯	小早川清	昭和初期
わか葉頃	上村松園	昭和 14 年頃
白雪紅燿	奥田元宋	昭和 62~63 年
白神花	大矢紀	昭和 63 年
春光	横山大観	昭和 10 年頃
暁噉	横山大観	昭和 19 年
白梅紅壁	岡信孝	昭和 59 年
月宵	浜田昇児	昭和 45 年頃
たゆとう霧	工藤甲人	昭和 52 年
不二霊峰	横山大観	昭和 11 年頃
百合	山口華楊	昭和 40 年代後半
富士	小川芋銭	大正 11 年頃
紅椿	奥村土牛	昭和 30 年頃
巖島	前田青邨	大正 6 年頃
水郷雪溪	川合玉堂	
牡丹	前田青邨	昭和 40 年頃
鯉	加山又造	昭和 40 年代後半
夜桜	加山又造	昭和 57 年
飛驒真春	久保嶺爾	平成 2 年
飛驒真秋	久保嶺爾	平成 2 年
四季草花図屏風	宗達工房	江戸前期(寛永 7~17 年頃)
四月の頃	郷倉千靱	昭和 28 年
游鯉	福田平八郎	昭和 14 年頃
住吉ものがたり	松岡映丘	大正 2 年頃
夕映	小林古径	大正 6 年頃
年	杉山寧	昭和 44 年
清遊	下田義寛	昭和 60 年
猫	前田青邨	昭和 48 年頃
溪村庵霽図	橋本雅邦	明治
蒼園	原萬千子	
ハッ橋	牧進	昭和 40~50 年代
溪瀑	山口蓬春	昭和 35 年頃~46 年
夏の夜図	上村松園	明治 35 年頃

資料名	作者名	制作年月日
木陰唐子	上村松園	明治 30～40 年代
夏の美人	上村松園	明治 30 年代
清秋	鏑木清方	昭和 10 年代
峻峰	中村岳陵	昭和 38 年
奥山溪谷寒山偲ぶ	鈴木松年	